

雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会
会議録（南畑小学校開催分）

平成 2 5 年 1 1 月 2 5 日

雫石町教育委員会

平成25年11月25日雫石町立小学校適正配置基本計画に係る説明会を開催した。

場 所 南畑小学校1階ホール

時 間 19時00分～21時00分

1. 出席者

一般住民 36人

報道関係者 1人（岩手日報社）

2. 事務局から説明のために出席した職員

雫石町教育委員会教育委員長 上 野 宏

雫石町教育委員会教育委員 佐々木 浩 子

雫石町教育委員会教育長 吉 川 健 次

雫石町教育委員会学校教育課長 高 橋 啓 二

雫石町教育委員会学校教育課主査 田 辺 茂

3. 書 記

雫石町教育委員会学校教育課主任 坂 井 一 博

4. 開会宣言

田辺主査 小学校適正配置基本計画に係る説明会を始めさせていただきます。まず初めに、教育委員長から挨拶をお願いします。

委員長 夜分お忙しい中、また雨の中お集まりいただき大変ありがとうございます。

さて、少子化の波が押し寄せ、猛烈な勢いで全国同様雫石町も児童数が減少。平成 24 年度は町内の児童数は 852 名、平成 25 年度は 809 名、わずか 6 年後は 700 名を切って 698 名。それに伴い、2 学年が一緒に学習するいわゆる複式学級を有する学校が半数以上の 6 校。複式学級は、少人数の活動なので先生の目がよく行き届き、仲良く和気あいあい学習できるが、同学年の多くの子供達と色々な意見を戦わせ、聞きながら自分の考えを練り鍛える面は非常に弱い。学習もスポーツも集団での活動が制限され、同学年でやることができにくい。21 世紀の今、子供達に求められる能力、今大きく言われるのは色々な人の意見を聞き、自分の意見を練り鍛えて、考えをみんなの前で堂々と発言する能力。それを培うために、ある程度の学級人数が必要になる。

そこで教育委員会では町内の小学校を見つめ直し、適正規模の小学校で力をつけていこうと、平成 24 年度検討委員会を立ち上げ、5 回の話し合いと学校視察を経て 2 月に提言書をいただいた。これを基に教育委員会で 6 回、色々な視点からの話し合い、意見を考慮。その結果が本日の雫石町適正化基本計画、これは教育委員会の案。私共は、子供達の学習環境をよりいいものにしたい。それを第一に考え、検討を重ねた。より良い形で子供たちの学習環境が作れますようによろしくお願いします。

田辺主査 〔説明会参加の事務局の紹介〕

学教課長 〔以下、適正配置基本計画を資料に沿って朗読し、内容の説明〕

田辺主査 ここから皆様からご質問、意見を賜りたい。挙手後、マイクをお持ちします。

参加者 子供が本当に少なく可哀想に感じるので統合は、凄く賛成。ただ、校舎の点で安庭小の造り方がプレハブみたいで、本当に小さく、もう少しきちんとした空間のある、情緒を盛り上げるようなものがある学校であってほしい。滝沢の学校を拝見しても、吹き抜けの昇降口を見ると匠の作った学校から仮設に戻る感じがする。お金が掛かるなら、このまま南畑小での勉強がよろしいのでは。グラウンドも向こうは黒土であり、私達が御所中を終わってから何の手入れもされていないようで、水捌けも悪く中身もない。体育館も立派で使える状況であり、お金も掛からず、このまま手入れの必要ない南畑小で勉強させた方が非常に良いかと思う。安庭小の敷地は広いが、校舎がど真ん中で、校庭も狭くて何も考えないで建てた感じで残念。どうせならお金をかけなくてもいい南畑小で学んでほしい。

床暖房もあるし、南畑小が建物的には絶対素敵だと誰が見ても感じる。その辺

りをもう少し考えて欲しい。ただ新しいだけで選択したようだが、更にお金をかけなくてはいけないのであれば、不適切だと私は考えているがいかがか。

学教課長 安庭小がプレハブと言っても、建てる段階で色々設計し、廊下のオープンスペースや床暖房、しらうめホール等色々な形で建てたもの。厨房も最新の機器を使用しており、使い勝手はコンパクトで逆にいい。これからの児童の推移を考えると最高多くて25人。当時学校を建てた時は120人居なかったが、30人規模を見据えて作ったもの。教室は、仕切るのもオープンも可能。スペースは子供が25人十分に入れる。グラウンドは、施設台帳で比較すると3校で一番広い。手入れが十分に行き届いていない部分もあるが、スポーツ少年団の野球もやっているし、それぞれ手入れはされてはいる。体育館は非常に狭くて十分でない上、プールの更衣室も整備が必要。ただし、安庭小は建ててから6年しか経っていない。南畑小は28年経過。確かに十分に手入れが行き届き、さらにこちらの教室は1室64平米ぐらいあって広くて十分使えるが、全体的な部分を考え、教育委員会でも平成20年に建てた小学校をすぐ別の用途で使うのはどうかと。それらを踏まえて安庭小という結論で判断した。

参加者 子供のスポ少で安庭のグラウンドに行ったがぬかって黒土のまま。同じ感じだと雨が降ったらすぐにぬかって、その可哀想な状況でやっている。ご覧になったか。他の学校の水捌けのいいグラウンドの処置とか、工事は全くされないのか。

学教課長 私も御所中出身で野球をやっていた。当時は町内で一番水捌けのいい学校。雨が降った時の子供達の練習は見えていないので、どのような状態か見たい。

参加者 南畑小がいいという意見が出たので加えて。私はこの統合問題を最近知った。慌てて安庭小の校長から案内を受けて校舎内を見学。南畑と比べると施設は勿論新しい。ただ、教室やホールは南畑の方が余裕を感じた。安庭は不便を感じる造りと考える。それと体育館は余りにも古いので、南畑の体育館を使っていた子供達がいきなり古い体育館に行くのは本当に可哀想。もし安庭に統合するなら建ててもらおう。ただ、多額のコストがかかる。町の財政も厳しいと思うし、別の小学校を使えばいいのでは。安庭は職員室からプールが見えない。ここだと職員室とプールは近く、事故があってもすぐに応急処置の対応がしやすい。パソコン室もあったが安庭では図書室と兼用でエアコンも完備されていない。コンピュータ室にはエアコンが必要。そこら辺のコストもかかってくる。音楽室も南畑の場合、隣に音楽準備室を広く取っている。何より子供達の給食。南畑の場合は食堂があり、しかも統合しても全員入る広さがある。安庭や他の学校はそれぞれの教室で食べるスタイルかと思うが、コミュニケーションを給食の場でも取れるのは大変素晴らしい。南畑の場合、築年数は27年だが老朽しているところは少なく、補修工事も少なくできると考える。

周辺施設ですが、鶯宿の野球場が3つ、近くにはケッパレランド、ゲートボー

ル場もあって老人とコミュニケーションも取れる。あと日赤鶯鳴荘とも毎回交流行事を盛んに実施。鶯宿病院もすぐ近くで、何かあっても迅速に対応できるかと。安庭小が新しく立派というのは凄く分かるが、使い勝手から言うと断然南畑小が良く、子供のことを考えると南畑小がベストではないかと思う。

学教課長 体育館は当然古い。統合したら早いうちに建て替えなければならない。プールは真ん中で校舎が囲むような場所。職員室からは見えないが、プール時は PTA や先生が注意して監視している状況なので影響はない。パソコンルームにはエアコンが各小学校入っているはずで、入っていないのは申し訳ないが大村小だけ。安庭小はオープンスペースなのでエアコンをつければ、図書室も冷える。(※確認の結果、安庭小のパソコンルームにエアコンは未設置だった。)給食は、ほとんどの学校にランチルームがあるが、雫石小と安庭小がない。ただ、必要に応じて、しらうめホールを利用して一同に会して給食を食べることはできる。それを毎回やるわけにはいかないが、それなりに子供達は自分達で準備しながら色々やっている。確かにここはもうすぐ 28 年。修繕は目に見えないところ、例えば屋根も 2 回程度塗っているし、そういった部分で今後、いつ、どういう時に故障が出てくるのかそういった心配もある。近くの病院については、安庭小には御所診療所がある。

参加者 御所診療所では、無理だと思う。

学教課長 急病であれば救急車を呼ばなければならない。5 分 10 分が命に関わる場合は、逆に盛岡に近い病院にといった部分はある。申し訳ないが、御所診療所では無理と言われるなら、こちらもこう答えるしかない。移動の際はスクールバスを出来るだけ活用する。その移動に関しては、問題ないかと。

参加者 安庭小を使う考えは、変わらないか。

学教課長 まず意見を出していただいて、それを含め考える。

参加者 大規模と小規模について学力の差はほとんどないとのことだが、複式解消の統合になった経緯はどのようなものか。

学教課長 学力的には、小規模校だから差があるということは全くない。町内でも学力についての差はなく、逆に高いくらい。ただ、子供達がある程度の集団で、自分の同級生の色々な意見を聞き、それを整理して、自分の意見をまとめて発表する等メリットがある。また、スポーツだけでなく、学校行事等、学級での活動もある程度の集団だとできるものがあるので、できれば小さいうちから色々体験してもらいたい。それらを経て、これは自分に合う、合わない、を中学校に行った時の判断にしてほしい。ある程度の集団で行動できることがいいかなということで、最低でも複式学級は解消したいと考えた。

参加者 このような会を開いていただき、大変良いことだと思うが、統合について地域や保護者に説明のないまま、新聞や広報に先に載ったのはどうしてか。

学教課長 これについてはどういう順序でやるか大変考えた。教育委員会としてどういった形がベストかと。今回の基本計画は、教育委員会としての叩き台。これを示したことで色々な意見が出てくる。それらを踏まえ、今は基本計画なので今後の実施計画に持って行く段階で、皆さんの意見をどんどん入れていきたい。何回も伺って、次回は懇談会的な形で進めていければいいかと。

参加者 なぜ3年という短い期間で統合を進めるのか。

学教課長 それについては、できるだけ早い段階から、より良い環境で子供達を学習させ、学校生活を送らせたいとの思いがある。例えば、今の1年生が卒業する前に統合し小学校生活を送り、中学校に行ってほしい。当然、合意形成が成されないまま進めるつもりはない。教育委員会としては、できるだけ早く進めたいが、皆さんがもう少し検討したいとなれば、この期間を超えて話し合う。

参加者 検討委員会内でPTA会長が個人の意見を聞きたいと言われたらしいが、個人の意見だけで良いのか。あとは、PTA会長が南畑小のメリットを何点か挙げたかと思うが、現段階は安庭小に統合の方向。基本理念は、児童にとってよりよい環境とあるが、安庭小への統合でどういった点がメリットで子供達のためか。

学教課長 適正配置検討委員会については、PTAの代表として集まってもらった。必ず会長ではなく。例えば、学校に戻った時に、PTAから色々意見を聞いて集約してもらう余裕もなかったため、検討委員会委員としての考えを個人的に出してもらった。それから、安庭小は一番新しく、明るく、オープンスペースもある、それらを生かして子供達に学んでももらいたいと思ったところ。

参加者 検討委員会のPTA会長の代表という点、他にも取り立てて戻ってきても何もなかったし、会長も後から困っていた話をしていた。私個人の意見を言っていいたかと悩んでいた。やはり民主主義の国なので、賛成、反対それぞれ意見がある。皆さんと何回か話してから説明会の方が良かったかと。進める順番が酷い気もして、上層部で決めている感じが凄くしてならない。こういう問題は、周知を徹底してから進めてほしい。

学教課長 大変唐突な形で申し訳ない。ただ、これが一つの出発点と考えていただきたい。皆さんと懇談しながらよりよいものにしたい。

参加者 これから家を建てようと思う親が、学校への通学を考えてできるだけ安庭に近いところと思うはず。末端の地域がますます過疎化すると思うがどう考えるか。

学教課長 大村でも同じことを言われ、出来ればそうならないよう進めたい。でも逆の可能性も。学校に近いとすれば、南畑に統合した場合、安庭小学区の人がこちらに家を建てるか。問題として、両方存在するのでは。非常に悩ましい部分。出来るだけ少子化が進まない街づくりを意識し、統合した場合、使用しなくなる校舎の活用策と定住促進策も一緒に講じなければならない。

参加者 PTAの方が沢山来ていて、PTAの方が意見するのが一番だと思って後ろで聞いて

いたが、途切れてきたので私も一言。今日聞いていると、「安庭小の校舎を使用します」という表現で書かれている。こう書かれると来る必要がなかったと感じる。「安庭が新しいからそうしたいと思っている」と書かれているならわかるが、「します」という表現を使われると何も言えない。説明では、地域の要望を提示してと話をされて、そうすれば話は変わるし。こちらからの質問に対しても、課長は議会答弁のように答えている。では、教育長は全体的な機能的な色々なものを考えて、南畑、安庭、大村どこがいいか。

子供達のためにどこが一番適切かを考えなければならない。そういう意味で先程から質問している。それに対して反論のように答弁され、例えば、医者話も盛岡に近いからと答弁みたいな理屈で言われるとこちらは何も言えない。正直、教育長はどう思っておられるか。先ほど安庭と南畑の違いでも、新しいからとしか出てこない。明かりが入るからオープンスペースがどうか、ここだって明るい。もっと具体的な子供達の将来に対する考え方として校舎を選ばなければならない。そう考えていただかないと前向きな方向に行かない。何回集まりを持っても同じ。

教育長 耐震化診断が必要な建物は昭和 56 年を境に耐震化診断の手続きで、1 年違っても構造等が相当違うのではと感じている。1 年ではそうそう変わらないという話もあるが、25 人が入れるような造りをしており、一番新しい所が適切と感じる。

南畑小の立地条件として、軟式野球が 3 面取れてすごくいい。南畑小を壊すのではなく、スポーツ施設の中心として利用できないかと私案もある。これは皆様からのご意見をいただきたいし、町の考えともすり合わせなければならないが、この施設は管理棟の一部として使い、体育館も立派なので色々な体育施設として使う。色々なトレーニングマシーンを導入し、トレーニング施設が充実すれば高校や大学、一般人の合宿施設として使えるかと。鶯宿という立派な温泉があるので、シャワー施設なりを設置すればもっと施設が活かされてくると感じる。

3 面のグラウンドで、C グラウンドに小さなトイレがあるが、トイレと駐車場を整備すればもっと使いやすくなるし、南にゲートボール場があるので、日赤鶯鳴荘がそこに降りて来てもグラウンドゴルフ場として整備すればいいかと。ケッパレランドの話もあったが、日赤鶯鳴荘からケッパレランドに抜ける道があるとのことで、ランニングコースにして夏も使えるかなと。スポーツの拠点となるような施設で使っていけばいいかと感じていた。あくまでも私案だが。

大村地区も県道 1 号線で沢内に抜ける途中にトイレもないので、道の駅的に使ってもいい。あとは老人や住民が集まったり、神楽のために集まったり、運動会を開いたり、消防の演習場として使ったり。それは南畑でも同じことが言える。町全体として考え、スポーツ施設や環境が必要でそれが安庭で作っても有効には活用されないかと思う。複式になって 5 年ぐらい経つかと思うが、複式は 2 学

年が 1 学級で一緒に授業をする。そうすると子供と先生が接する時間が単式の同学年と比べると、半分の時間しか勉強が進められない。学力の差は出ていないが、それが 1 学級だと子供はもっと上まで行くかもしれないし、出来れば単式学級で受けさせたい。答えにならないかもしれないが、町全体を考えて進めたい。

参加者 そんなに南畑小が立派だと言って貰えたら、ますますここを使って欲しいと思うが。他の人に使わせるのはもったいないと逆に思う。

参加者 今の説明と私の見解が違うので最初に述べた後、二点程。一点目は基本計画と検討委員会の設置について。二点目は使用する小学校について。

まず、今説明のあった公共物について、私が調べた中では、当然 28 年経ったので心配という点と、1〜2 年では当然違うことは分かるが、表面上とそれから当然建設なので、財政的にも将来は影響する。南畑小は昭和 60 年に建設され、鉄筋コンクリート造りで、耐用年数が耐震化基準でいくと 47 年程度。それからスチール、体育館の鉄骨は、耐震化基準で言う 30 年程度。こう見るとまだ 28 年しか経っていない。40 年で最大の大規模工事を行い、80 年持たせるのが大型建造物の定番。ちなみに繫小学校の目標は、3 億 9000 万で耐用年数は 30 年。使い方によっては当然 40 年位。体育館を作るとすれば 3 億だったり 1 億だったり 5000 万で出来るかも知からない。耐震診断の昭和 56 年 5 月時点での適応では確かに必要になるが、2 階は 3000 m²以上になっているが、この施設は 2000 m²以内なので、強度の部分はほとんど心配ない。

それと西山地区の使用する小学校について、一番迷ったと書いているが西山地区は逆に簡単。なぜなら、平成 30 年の子供達は上長山小が増え、下長山小と西根小が減少。駐車場等のスペース、下長山は少ない。それから噴火の影響を考慮とのことだが、洪水などでは可能性があるが、噴火については今爆発してすぐに西山地区が全滅するとは考えられない。これは、少しオーバーな見解と私は考える。例えば、西山の場合は立地も建物の築年数もそんなに変わらない。子供もそうだし、現在成人している住民からしても私からすれば西山公民館が中間と考える。

そこで一点目の質問。検討委員の PTA 会長は地区の代表でたった 1 人の出席。見るとみんな雫石、西山の方々。その方々が環境をどの程度意識し、或いは反対意見を含めて、この計画ができたか私には見えない。教育委員は、当然立地等熟知していると思うが、どういう重ね合わせでこの判断になったか。地域環境、施設環境、総合的に勉強されたのか、どう絞られたのかが、見えない。課題は使用する校舎構造、機能性、利便性、何が一番重視されたか。選考部分は私からすればとても重要。

それから実質 2 年での統合は TPP や特定秘密保護法案と同じく少し緊急すぎる案件かと。審議される中でどう協議して支持されたか。

それから統合以降に使用する学校、上長山小の職員室より下長山小の方が子供

達の様子が見える校舎の作りや駐車場スペース等全てメリット、デメリットはあるが、スクールバスはどの辺りから運行するか。統合すると知力体力、心身もそうだが子供達を考えると休むことが非常になくなる。送迎部分で大村から戻って学校へ行くとなると朝の通学時間が問題。それらを考慮し、西山地区もこちらの地区も一緒かはわからないが、朝の出発時間や冬期間を考えて一条件に入れた方がいい。

あと、近い将来とはいつか。さらに統合となれば施設の新しい古いは全く関係ない。既存の施設等を考慮し、一番は環境的なことが判断材料となる。検討委員会と教育委員のすり合わせの際、何が一番問題になったかを聞きたい。

教育長 検討委員会の委員は、PTA で話し合っただけで会長なり副会長なりが選ばれて集まった。学校関係者は校長会、副校長会、それぞれの会長。一般は公募して応募のあった 2 名に来ていただいた。知識経験者は大学の先生と、以前に沢内村教育長と西和賀町長を歴任された、雫石在住の高橋さんをお願いした。学校全体の意見をまとめて持っていく形の招集ではなかったので、個人の意見で統合についてどうかを聞いた。

参加者 検討委員とか教育委員が意見をすり合わせた時の経緯の説明をお願いします。

教育長 検討委員会は委員に集まってもらい、5 回実施。そこでは文部科学省の考え方の確認、複式学級と単式学級の授業参観、そこで感じたことを話して貰った。基本計画は、提言書と似ているのでこのような形で進めた。提言書では西山地区だけ教育委員会で考えてくださいと出された。その後も色々付け加えたが、教育委員会としても今回提示した基本計画をまず案とし、それでどうなるのかを教育委員の間で話し、西山地区の小学校の建築年数、それから実際にそれぞれの小学校の教室や特別教室、体育館、駐車場、運動場はどうかを見学し、基本計画を皆さんに示した。

学教課長 補足です。適正配置検討委員会では一番の重点として、子供にとって一番良い教育環境をまず考え、色々検討していただいた。その他に使用する校舎が一番の課題。教育委員会で出たものとして、西山地区は下長山小から一番近いのは雫石小。陽和郷行政区は雫石地区だが下長山小に通っていることもあり、もしかしたら西山地区の小学校に行かず、雫石小に通う方々も出てくるだろうと想定。あとは、上長山小は非常に綺麗で大きく校舎も立派だが、新たに放課後児童クラブを外に作ることで、西山地区から盛岡等への勤務を想定すると他の小学校区の親が上長山小まで送迎しなければならないこと等が考えられ、そういうケースを想定し、下長山小でまとめた部分もある。記載していない他の理由もある。

スクールバスは、現在も 4km 以上を目安に、小岩井から七ツ森小、矢櫃から安庭小まで、上野沢から御明神小までを運行している。それに加え、もし統合した場合は、例えば、西山、御所であっても 2 路線ずつ必要と考えている。もし合意

いただければ、この件は皆さんと協議しながら考えたい。ただ、子供達に歩かせたい思いもあるので、学校から 500m の辺りに安全な場所があれば、そこで子供達を降ろして歩いて通わせようかとも。子供達の健康、体力的な部分に関係するのでそこは検討していきたい。冬場は非常に危険なので、校門までスクールバスで連れて行く予定。

総合的な判断部分、当然、全体的に考えながらやったつもり。教育委員でそれぞれの学校を見て、挙げたそれぞれのメリットデメリット。ただ、今回はここで整理していないので、次回は整理しながら出したい。近い将来ははっきり言って今回出している 30 年までのものは、0～6 歳の確実な出生数で推移。それ以降の子供が何人産まれるかは想定できない。ただ、現状として南畑小は、平成 10 年には 100 人いた人数が 10 年経って平成 20 年は 47 人と大幅に減少。安易な推計は出来ない。今の親の年代を想定しながら推計しなければならない。

参加者 最後に一点、私の意見。確かに各学校にはメリットデメリットがあり、地元の方はどうしても地元となる。第三者から公平な意見が出るのも確かだが、具体的に機能的、地理的な部分がわかるのは地域の方々。それに加えて平常点の採点、例えば、基礎点が安庭 100 点、南畑 80 点となっても、それに平常点として児童クラブの部分、課外活動の部分、体育館の建て直しの部分、等をプラスマイナスし、総合的に子供達を育てるのに相応しい環境は何かを考えて欲しい。現状だけでなく、お金を出して足りない部分を新しく作るなりトータルで見た時に、近い将来までの部分も加味して積算できれば。

参加者 失礼だが、西山はそんなに火山が心配か。なんで今といった感じ。

学教課長 今、100 年に一度の災害が全国的に発生。子供の安全を第一に考えるなら、安全面は考えていかなければならない。

参加者 それはそうだが、実際、津波や火山活動の想定はできない気がするが。

参加者 安庭の敷地は三方が崖に囲まれているが、安全性はどうか。今安庭小に登るところも崖崩れ。あそこがもし全面通行止めになれば、どういう経路か。それから、体育館は計画的にはいつ頃建て替えるか。最低でも計画を開始し、予算を算定し、認められて着工となるので、最低開始から 2 年かかるはず。そうすると 28 年には絶対間に合わない。中期計画があればお知らせください。

学教課長 安庭小は確かに三方が崖で、二方向はフェンスが張られている。東側にはフェンスがない。東側は体育館だが、もちろん安全面を確保しなければならない。それから崖崩れ箇所の迂回路的な部分は、戸沢神社の辺りから団地に入って迂回して安庭の南の方から行ける道路はある。それから体育館は、当然費用が掛かる。すぐには無理で、今復興に向けて色々事業を進めている。28 年の 4 月には当然間に合わないかと思う。それから復興の進み具合でも、最終的な部分でどのような進み具合になるかもまだ、こちらでも分からない部分。大体その協議で全体的に

進めていかなければならない。現在、予定や想定している部分はこれからの話。

参加者 私に聞いたかったのは、三方の崖が崖崩れになる可能性を調べているかいらないか。2011 年には大震災が起きたが、直下型ではなかったもので内陸にはほとんど被害がなかった。もし直下型の内陸地震なり、または今夏よりも大きな豪雨被害なりがあった場合、学校を取り囲む三方の崖が崖崩れを起こすかどうかの調査は行ったか。

学教課長 そういった調査は行っていない。

参加者 そこの安全面を聞いたかった。

学教課長 道路の崖崩れも危険度の調査はしていない。これから復旧工事等を実施していく。災害を想定して調査をするかは町全体で考える問題であり、教育委員会として持ち合わせはない。

参加者 要は白紙か。安全面に関しては、今は考えていないということよろしいか。

学教課長 南畑小前と安庭小前の崩落した箇所、どちらも考えていない。

参加者 統合に関わり人数が増えると安庭の狭い体育館だと安全面を考えれば少し危険かと。あの場所に立て直すなら体育館が一時期なくなり、工事期間中使えない状況が発生。立て直しには騒音も発生。小学生で騒音が発生すると集中力が欠けることも考えて、既存の施設を使った方がいい。既存の校舎は耐震問題も耐用年数も問題なく、新築はしないと記載。復興で町の経済も厳しく、状況によっていつ体育館を建てられるか分からないと。子供達のことを考えれば、今ある広いところを使った方がいいのでは。安庭の学習発表会を見たが PTA も入ると凄く狭い。ステージも狭く、子供達が可哀想。経済的に考えれば、出来る限り町の負担にならないよう、広い南畑を使うのが一番かと。

跡地をスポーツの拠点と言っていたが、これから子供達は減って高齢者は増える。では、南畑小にした場合、安庭小をどうするか。福祉施設もいい。新しいし、教室部分は平屋で真っ平ら。そんな環境に凄く利便性のいい建物ではないかと。

統合場所について色々理由があるが、児童にとってどうかの記載が一言もない。児童にとって駐車場が狭いなどはない。理由のところに計画策定の趣旨として、児童にとってより良い環境と謳うなら、児童にとってこれが良いとまず入れるべきでは。児童にとってこの面が良いからこの学校を選んだ、なら分かるが、校舎が古い、駐車場が狭いという理由は成り立たないのでは。多分どこに行ってもこういう自分の学校に居たいという意見もあると思うが、児童にとってこういうメリットがあるからと謳った方が、より説得力を持てるのではという意見。

学教課長 参考にさせていただく。一番人数がいる学年で 25 人。その範囲内で動ける施設という部分で考えていた。

参加者 子供にとって一番いいのは古くて立て直す体育館より、今ある新しい体育館ではないか。現時点で安庭小の体育館は狭くて古い。南畑の体育館はもっと広くて、

そこでいっぱい集まれて体育が出来るのになぜ安庭か。

学教課長 また議会の答弁と言われるが、新しいのであれば校舎は安庭小が絶対に新しい。その点も考慮して全体を考えなければならない。体育館で考えれば当然こちら。

参加者 スポーツ施設の話があったが、南畑、大村それぞれにスポーツ少年団があって、その括りで子供達が活発に活動しているが、生活環境を考えるとスポーツ少年団の活動は切り離して考えることはできない。活動場所などどう考えているか。

教育長 スポーツ少年団の活動は、町内の学校でも素晴らしい活動をしている。統合しても活動をなくすとは考えていない。一週間に1〜2回、現在のそれぞれの小学校区に帰って活動する日を設けたい。スポ少だけでなく、伝承芸能活動、例えば、山祇神楽、堰賛太鼓等の練習など。地域と子供達との結びつきを風化させないよう、地域のリーダーにお願いして活動を続けてもらいたい。当然その中にはスポ少で夕方から夜にかけて練習することもできるかと思う。プラス、新しいものを作ってもいいし、現在のものを統合先で続けることも考えられる。統合に合意を得られれば26年度から統合準備委員会で校名、校章、スクールカラー等、さらには曜日の使い方や伝統芸能やスポ少をどうするか話し合っしてほしいと考えていた。

参加者 今南畑での活動、他のスポ少も同じかと思うが、指導者が夜しか来られず、18〜19時から始まり20〜21時まで活動、結構遅い時間帯にやっていたりする。今は学童にお願いし、スポ少の予定表も渡しているので、18時半頃そのまま体育館だったりグラウンドだったりに行って、指導者が来て練習に参加と安全な状態を取っているが、例えば、統合して16時〜16時半に下校して、家にはもちろん誰もいなくて、スクールバスは下校に合わせるだろうし、親が迎えに来られなければスポ少に参加できない形になるとこれまたおかしい話になると思うが、そちらはどうする考えか。

教育長 スクールバスの運行は、長期休業中は小学校の場合プール等の活用で考えられると思うが、スポーツ少年団の日々の練習に対するスクールバスの活用までは考えていなかった。そういう方がたくさんいれば、考えていくこともできるかとは思いますが、今は考えられない。

参加者 スポ少自体も少人数で頑張っているところもある。もちろん今すぐとはいかなくても、待っている間になくなる可能性もあるので早めに対策を。組織自体がなくなれば何とも言えないし、折角やろうとする人達がいる中で、たまたまタイミングがずれた格好でなくなるのは惜しいと思うので早めに考えていただきたい。

教育長 現在活動している内容をなくさないよう進めて参りたい。

参加者 例えば、南畑が安庭に統合した場合、南畑や大村の親御さんも安庭に入った方はあまりいないはず。子供を知らないところに預けるのは不安なので、参観日とか1日体験授業みたいに安庭、南畑、大村それぞれに行って、その後皆さんからアンケートを募って、各学校のメリット等を聞きだしてもいいのでは。意見です。

参加者 西山地区は、各学校のメリットデメリットが色々載って、結果下長山小となっているが、御所地区は全然載っていない。体育館やプールの部分を新築してまで安庭を使用するなら、他はそれより欠点や欠陥があるのか。メリットデメリットを考えて安庭の体育館とプールを直してでも使おうとなったのか。これを見るとそれが出していない。ここの学校だと何が駄目か、ここが駄目だからあっちとか、西山地区と比べると全くない。できれば何が駄目でここが使用されないかを説明してほしい。環境なのか施設なのか交通事情なのか、何が悪いか教えていただければ。

教育長 一番の大きな理由は、建築年数が一番新しいということ。

参加者 それが一番の理由。では子供のためとかそういった形ではない。建物が小さくても新しければそれでいいとなってしまう。多少狭くても。

教育長 いや、極端に小さければそれは考えたいが。

参加者 では、ここは極端に古い。古いのが原因でここは駄目ということか。

教育長 3校比べた中では古い。駄目というか、より安庭の方が良いかと。

参加者 そういう部分がこれには載っていない。西山はきちんと書いているので、どういった検討で安庭になったかをお聞き出来ればと思って。

参加者 そもそも小学校の立地条件とは何か。年数だけで決めているようだが。

学教課長 そういった立地条件の部分は、当然それなりの面積を有するといったことで、教室も必要規模の基準はあるが、定義的には立地条件は特にはない。

参加者 南畑は、安庭と大村の中間。立地的にはどちらからも負担は公平。安庭は大村も遠くなる。まして親にもかなり負担がかかる。そのあたりも見ていただきたい。

学教課長 それではメリットデメリット等が出てきているので、再度整理しておきます。

参加者 最後になるが、今まで色々新しい校舎が良いとか話し聞いたが、私達保護者の意見は、一番は子供達を考えて決めていただきたいということ。

5. 閉会宣言

教育長 時間もだいぶ経っているので、今日は、一応終わらせていただきたい。教育委員会として、児童にとってよりよい教育環境とは何かを第一に考えた結果、今回の適正配置基本計画となったもの。今日いただいたご意見と質問等を整理し、再度説明、懇談に参りたい。雫石町の子供達がすくすくと育っていける環境にして参りたい。